

はいすい見張り版

報告事項

第 28 回 大学等環境安全協議会

総会・研修会に参加しました

11月25日(木)から26日(金)まで、横浜国立大学にて、第28回大学等環境安全協議会総会・研修会が行われました。この会は、毎年開催されており、全国の国立大学や企業から、廃液・廃棄物、労働安全関係の業務に携わる人々が150人以上集まりました。



大環協のパネルディスカッション(上)と講演(下)。参加者からも多数の質問が出て、盛り上がりを見せた。

研修会では、「大学等における作業環境管理(化学物質等)の現状と課題について」と題したパネルディスカッションや、「安心・安全、持続性の科学と技術」と題した特別講演などが行われました。大学における課題や実情など興味深い話題が多く、参加者からも多数の質問や意見が出され、充実した会となりました。

環境報告書2010 国立大学法人山口大学
http://ds.ocw.smapu.chu-u.ac.jp/ims-01/hankyo/hankyo_index.html

1. 環境理念・方針
基本理念 「持続し、はぐくみ、発展」を理念とし、自然環境の保全、社会環境の向上、地域社会との共生、国際社会との連携を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。

2. 環境目標と具体的な取組
環境目標 2010年度実績(単位:万円)

項目	2009年度	2010年度
環境教育費	10,000	12,000
環境改善費	5,000	6,000
環境調査費	3,000	4,000
環境管理費	2,000	2,500
環境対策費	1,000	1,500
環境活動費	500	600
環境推進費	100	150
環境整備費	50	100
環境維持費	20	30
環境その他	10	20
合計	22,600	28,200

3. 環境配慮活動の状況
環境配慮活動の推進状況(単位:万円)

項目	2009年度	2010年度
環境教育費	10,000	12,000
環境改善費	5,000	6,000
環境調査費	3,000	4,000
環境管理費	2,000	2,500
環境対策費	1,000	1,500
環境活動費	500	600
環境推進費	100	150
環境整備費	50	100
環境維持費	20	30
環境その他	10	20
合計	22,600	28,200

4. 環境管理体制
山口大学法人環境マネジメント体制に関する要綱
(1) 環境政策の策定と実施の推進
(2) 環境影響評価、評価の実施
(3) 環境改善計画の策定と実施
(4) 内部監査の実施

5. 環境配慮の取組状況
環境配慮活動の推進状況(単位:万円)

項目	2009年度	2010年度
環境教育費	10,000	12,000
環境改善費	5,000	6,000
環境調査費	3,000	4,000
環境管理費	2,000	2,500
環境対策費	1,000	1,500
環境活動費	500	600
環境推進費	100	150
環境整備費	50	100
環境維持費	20	30
環境その他	10	20
合計	22,600	28,200

6. 教育・研究・地域等の環境配慮およびトピックス
トピックス
山口大学の環境配慮活動に関する要綱
(1) 環境政策の策定と実施の推進
(2) 環境影響評価、評価の実施
(3) 環境改善計画の策定と実施
(4) 内部監査の実施

7. 環境管理の状況と情報交換
環境管理の推進状況(単位:万円)

項目	2009年度	2010年度
環境教育費	10,000	12,000
環境改善費	5,000	6,000
環境調査費	3,000	4,000
環境管理費	2,000	2,500
環境対策費	1,000	1,500
環境活動費	500	600
環境推進費	100	150
環境整備費	50	100
環境維持費	20	30
環境その他	10	20
合計	22,600	28,200

山口大学の環境報告書(ポスター)。クリックすると全文が表示されます。

また、会場では各大学等の環境への取り組みや目標を盛り込んだ、環境報告書の展示も行われました。山口大学も、左図のようなポスターと環境報告書(ダイジェスト版)を展示し、活動をアピールしました。

新・連載企画

～クイズで 納得!～ 廃液マメ知識

第 7 回:ふっ素・りん廃液の話

今回は、ふっ素またはりん酸化合物を含む無機廃液の話です。山口大学では、「ふっ素・りん廃液」用と、「ふっ素・りん・重金属廃液」用の容器が用意されています。なぜこれらは「別枠」なのでしょう。そしてこれらの廃液の定義とは…? 以下の文章は、ふっ素・りん(・重金属)廃液について述べたものですが、下線部がいずれも誤っています。皆さま、正しく直すことができますか?



☆排水処理施設からのお願い☆

♪12月は大掃除の季節です。使い残りの試薬や溶液を処分したり、洗剤を使ってあちこち磨いたりすることも多いかと思ひます。これらの作業に伴い、pH異常が多発しやすくなります。皆さま十分にご注意ください。

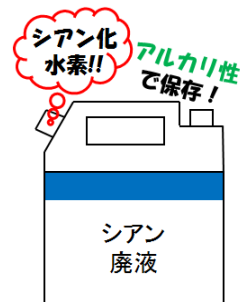
- ・ふっ素およびりん酸の化合物は、廃液処理の際、**凝集沈殿反応**を阻害するため、あらかじめ**酸化分解反応**によって除去する必要がある。
- ・ふっ素・りん廃液は**黄色**、ふっ素・りん・重金属廃液は**緑色**のラベルのタンクに貯留する。なお、ふっ素・りん・重金属廃液とは、クロムやマンガンなどの重金属に加え、りん酸化合物を **50 ppm** またはフッ素化合物を **30 ppm** 以上含む廃液のことである。
- ・水銀化合物を 3 ppm、りん酸化合物を 200 ppm 含む廃液は、**ふっ素・りん・重金属廃液**である。

☆☆☆ 前回の答えと解説 ☆☆☆

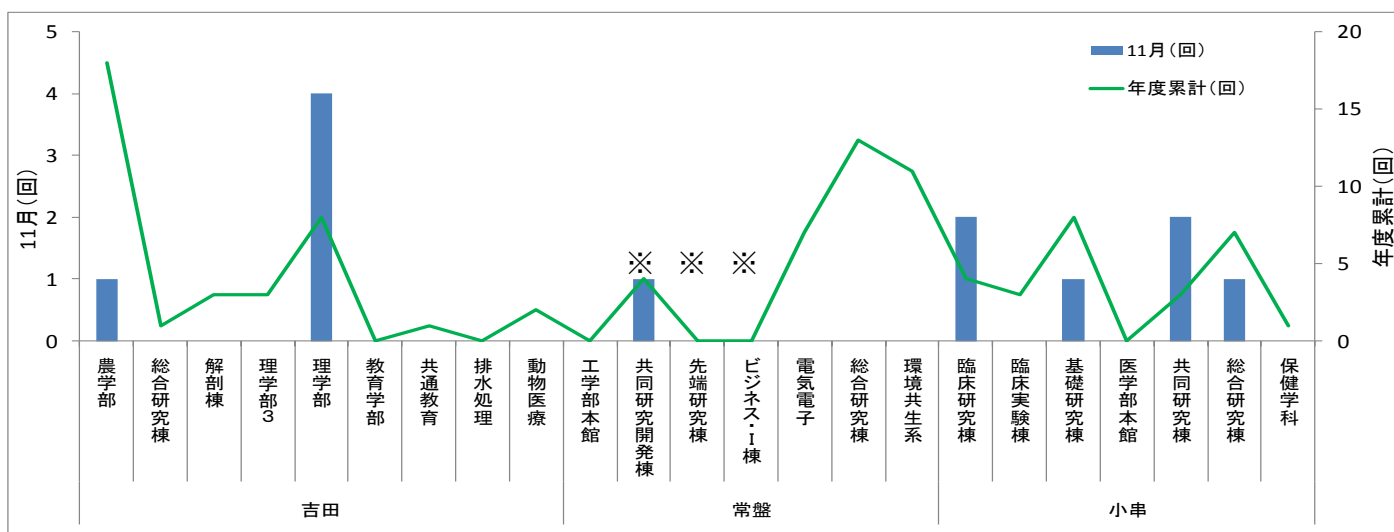
括弧に入る語句は、次のとおりでした。

- ①青色、②酸（性）、③シアニ化水素、④アルカリ（性）、⑤できる

皆さまご存じの通り、シアニ化合物は、毒物に該当するものも多く、取り扱い方を誤ると非常に危険です。薬品の保管・使用、廃液の管理には、十分な注意をお願いします。



◆ pH 異常発生回数 建物別対抗戦 11 月分結果発表!



11 月は、理学部本館（吉田）で pH 異常が多発生しました。中には、掃除用の洗剤が原因で、pH 異常が発生したケースもあるようです。このように、実験に使用する薬品以外にも、洗剤や漂白剤などが原因で pH 異常が発生する場合があります。万一、これらを流してしまった場合（pH 異常を発生させてしまった場合）は、

速やかに排水処理施設までお知らせいただきますよう、皆さまのご協力をお願いします。

また、11 月は、小串地区で pH 異常の発生が目立ちました。小串地区の皆さま、薬品や廃液の取扱いには十分ご注意ください。お願いします。

※図中※印の 3 棟は、pH 計調整中のため、11 月 10 日以降の異常回数はカウントしていません。ご了承下さい。

◆ 12 月の廃液回収情報

- 12 月 2 日（木） 10：00～11：00 常盤地区 有機系廃液回収（於：常盤地区廃棄物倉庫前）
- 12 月 17 日（金） 14：00～15：00 小串地区 廃液回収（於：小串地区廃棄物倉庫前）

山口大学 総合科学実験センター 排水処理施設

TEL : 083-933-5137(内線:6137), 0836-85-3064(内線:3064)

E-mail : haisui@yamaguchi-u.ac.jp

URL : http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html

皆さまからの ご意見・ご感想をお待ちしております・・・

